

2018年度 要望活動

日本水道運営管理協会として厚生労働省と日本水道協会に対し、水道運営事業の厳しい経営環境や優秀な人材の確保と育成に現状を苦慮している実情を報告し、下記の5つの要望を行うとともに意見交換を行った。

【 要望実施日 】

- ・ 2018年9月11日（火） 日本水道協会

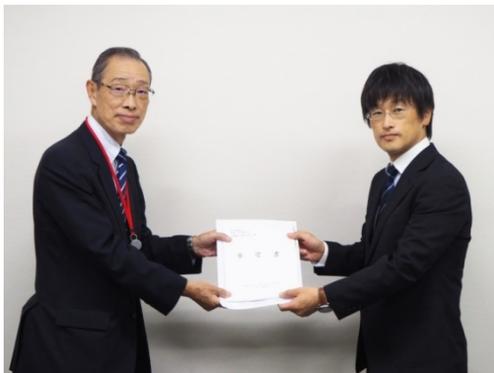
日本水道協会 吉田理事長に当協会 飯嶋会長より要望書を手渡し、意見交換を行った。

- ・ 2018年10月31日（水） 厚生労働省 医薬・生活衛生局 水道課

厚生労働省水道課 日置室長に当協会 飯嶋会長から要望書を手渡し、意見交換を行った。

【 要望事項 】

1. 水道施設維持管理等業務委託積算要領案
積算要領案の改定などにあたって受託者側からも意見聴取（厚生労働省）
完全適用を水道事業者へ周知（日本水道協会）
2. 業務委託の発注方式
技術力の評価が適正に行える技術提案型プロポーザル方式の導入
3. 業務委託の契約方法
新技術導入、業務の効率化、技術者の安定的な雇用を確保する必要があることから
複数年度契約（5年以上）の導入
4. 業務委託の評価方法
水道施設管理業務マニュアル案の活用
5. 水道界のイメージ向上の推進
魅力ある水道界となるよう、産官学による研究開発の推進、
新技術の積極的な導入、研究開発機関の充実



飯嶋会長から日置室長へ要望書提出



飯嶋会長から吉田理事長へ要望書提出